

犬フィラリア症予防剤

	モキシハートチュアブル				
	7.5	15	30	60	136
承認指令書番号	28 動薬第 4007 号	28 動薬第 4008 号	28 動薬第 4009 号	28 動薬第 4010 号	28 動薬第 4011 号
販売開始	2017 年 12 月				

使用前に必ず本書を読み、内容を理解したうえで使用してください。  
また、本書を必要なときに参照できるように大切に保管してください。

要指示医薬品 指定医薬品

モキシハート<sup>®</sup>チュアブル7.5

モキシハート<sup>®</sup>チュアブル15

モキシハート<sup>®</sup>チュアブル30

モキシハート<sup>®</sup>チュアブル60

劇薬 要指示医薬品 指定医薬品

劇モキシハート<sup>®</sup>チュアブル136

本剤の主成分であるモキシデクチンは、マクロライド系化合物ネマデクチンの誘導体で、広範な抗寄生虫活性を有しています。  
本剤は、飼育履歴の分かる国産牛肉など嗜好性の高い原料を賦形剤に使用し、開発されたチュアブルタイプの錠剤です。 1 カ月 1 回の経口投与により犬糸状虫症を予防します。

【成分及び分量】

本剤 1 個中(約 0.45 g)			
モキシハートチュアブル 7.5	モキシデクチン	7.5	μg
モキシハートチュアブル 15	モキシデクチン	15	μg
モキシハートチュアブル 30	モキシデクチン	30	μg
モキシハートチュアブル 60	モキシデクチン	60	μg
モキシハートチュアブル 136	モキシデクチン	136	μg

【効能又は効果】

犬：犬糸状虫の寄生予防

【用法及び用量】

毎月 1 回、 1 カ月間隔で体重 1 kg 当たりモキシデクチンとして 2 ～ 4 μg を経口投与する。投薬期間は、蚊の発生後 1 カ月から蚊の発生終息 1 カ月後までの間とする。

【使用上の注意】

(基本的事項)

1. 守らなければならないこと  
(一般的注意)
- ・本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
  - ・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
  - ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- (取扱い及び廃棄のための注意)
- ・本剤の外観又は内容物に異常が認められた場合は使用しないこと。
  - ・本剤は分割投与しないこと。
  - ・本剤は有効期間を設定してある動物用医薬品なので使用期限を過ぎた製品は使用しないこと。
  - ・小児の手の届かないところに保管すること。
  - ・本剤の保管は直射日光及び高温を避けること。
  - ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
  - ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
2. 使用に際して気を付けること  
(使用者に対する注意)
- ・誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。
- (犬に関する注意)
- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。



(専門的事項)

① 警告

- ・本剤の投与前には健康状態について検査し、異常のある犬には投与しないこと。

② 対象動物の使用制限等

- ・本剤は離乳前の子犬には投与しないこと。

③ 重要な基本的注意

- ・本剤の投与前には犬糸状虫感染の有無を集虫法、抗原検査法等により検査し、犬糸状虫感染犬に投与する場合は、成虫及びミクロフィラリアを駆除するなど適切な処置を行い、慎重に投与すること。
- ・本剤の投与前に必ず血液検査を行い、ミクロフィラリアがいないことを確認した後、投与を行うこと。
- ・コリー犬及びその系統の犬種において、アベルメクチン系薬剤によって、神経毒性を示したとの報告がある。
- ・本剤は、犬糸状虫成虫には効果がないため、成虫駆除を目的として使用しないこと。

④ 副作用

- ・本剤を犬糸状虫寄生犬に投与したとき、大静脈症候群、元気消失、食欲不振などが現れることがある。
- ・本剤の投与により、まれに嘔吐、下痢、ふるえ、けいれんを起こすことがある。

【有効期間】

36 カ月

【包 装】

モキシハートチュアブル 7.5	6 錠 × 5 シート
モキシハートチュアブル 15	6 錠 × 5 シート
モキシハートチュアブル 30	6 錠 × 5 シート
モキシハートチュアブル 60	6 錠 × 5 シート
モキシハートチュアブル 136	6 錠 × 5 シート

【製品情報お問い合わせ先】

株式会社ビルバックジャパン  
〒541-0047  
大阪市中央区淡路町1-3-14  
TEL：06-6203-3148

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所（<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>）にも報告をお願いします。

販 売 元



株式会社ビルバックジャパン  
大阪市中央区淡路町1-3-14

製造販売元



フジタ製薬株式会社  
東京都品川区上大崎2丁目13番2号